

## 鼎談シリーズ③ 「響育」

# あなたの原点は、わが母校

## 「響育」

(株) ジュピターコーポレーション 副会長

麗澤大学 特任教授 副学長

モラロジー道徳教育財団 特任教授

堀内 利一  
大久保俊輝

大久保・麗澤大学の魅力をお聞きしたいと思い、濱井先生そして堀井先生にお越しいただきました。ご出身はどちらなのでしょうか。

濱井・福井県敦賀市から参りました。濱井利一と申します。よろしくお願ひします。

堀内・大阪府八尾市出身の堀内一史と申します。どうぞよろしくお願ひします

大久保・佐賀県出身の大久保でございます。

大久保・今日は、「卒業生が大学を決める」、「卒業生の活動によつて、その大学の素晴らしいことがある」ということを語り合いたいと思います。濱井さんは、「大學の四年間で自分の人生が変わった」ということを言つてましたね。それはどんな出会いなのでしょうか。学生時代にそれだ

けのインパクトを受けることは珍しい感じがしますが。

濱井・私は麗澤大学に入学して、先輩から誘われモラロジーの勉強会のサークルに参加しました。そこで顧問の加藤清先生に出会いました。その後、その加藤先生から四年間親しくご指導をいただきました。それが私の人生を大きく方向付けてくださつたのだと思っています。あ

の出会いがなければ今の私人生はないと感じています。

堀内・私も加藤先生に教わりました。

大久保・どんな先生だったのですか?

大久保・それは、教師冥利に尽きますね。学生に命を吹き込むということのできる先生っていうのは、すごいことだと思うのですよね。

濱井・加藤先生は、麗澤大学の教授として来られる前は、九州の佐賀県ご出身なのですが、九州で造船会社を経営しておられたそうです。ですから会社経営を通して経済活動の経験が十

したモラロジーが、どんなものか全く中身を知らなかつたんです。サークルに入りまして、加藤先生から細かくその背骨になる理論とか、その理論の実践方法とか、四年間ご指導いただきました。習得できたのは、そのごく一部なのかなと思つていますが、それでも、いまだに感謝をしています。



(株) ジュピターコーポレーション  
副会長 濱井 利一 氏



麗澤大学 特任教授  
副学長 堀内 一史 氏



モラロジー道徳教育財団  
特任教授 大久保 俊輝 氏

分おありで、その後、モラロジーと出会つて、自分はその教育に生涯を捧げたいということでの本部に来られました。ですから経済活動と教育活動の両方の深い経験を持つた方でした。

**大久保**：やはり、最終的には教育によつて決まるんですね。加藤先生の中でも今一番印象深いことってどんなことが残つていますか？

**濱井**：モラロジーの教えに基づいて、生涯を「真心で生きていきなさい」ということが、私の中には残つています。

**大久保**：真心で生きなさいっていうふうに言われた時に、今までの過去とか物事の出来事とかの判断が変わりますよね。

分おありで、その後、モラロジーと出会つて、自分はその教育に生涯を捧げたいということでこの本部に来られました。ですから経済活動と教育活動の両方の深い経験を持つた方でした。

**大久保**：やはり、最終的には教育によつて決まるんですね。加藤先生の中でも今一番印象深いことつてどんなことが残つていますか？

あるいは「生かされているんだ」ということに少しではありますけれども気が付いたことが大きかったです。

あるいは「生かされているんだ」ということに少しではありますけれども気が付いたことが大きかったと思います。

**大久保**：これを大学時代に得られるというのには、やはり稀有なことでもあるし、また今一番求められていることだと思うのですが、すけど、堀内先生、大学教育の中で、真心つていうのを教える場面つてありますかね。

井：モラロジーの教えに基づいて、生涯を「真心で生きて生きなさい」ということが、私の中には残っています。

**大久保**：真心で生きなさいっていうふうに言われた時に、今までの過去とか物事の出来事とかの判断が変わりますよね。

**濱井**：今までの自分自身を振り返ってみると、全く自分の

科学という講義がございます。  
道経一体論ですとか、それぞれの科目の中でテキストもあります。けれども、経営者にお越しいただきまして実際の道徳的な経営についてお話しいただき、実体験として語られる、それを学生が学ぶというスタイルはありますね。

たままアメリカに来ておりましたので、「大変です」というふうに報告に行きました。その時に社長から言わされたのは「濱井君、ビジネスは楽だな。失敗しても命とられないよな。おれは、元海軍の軍人だったけれども、一発弾に当たつたら死ぬんだよ」。全然人生観が違う社長の下で、私は仕事をするんだなと思いました。

人ですか？握手してください。昭和天皇は素晴らしい紳士です「ね」と言われたことがありますて、その時私は、本当に腹の底から熱いものが込み上げて「日本人で良かつたな」と思つたことがありましたね。

**大久保**：嬉しいですね。この事実は今の若者たちになかなか伝わっていない。いいものはどんどん伝えなきやいけないのに悪い

大久保：体験から学ぶということですね。経営者で相当しくじりもされていくと思うし。いわゆる失敗談ですね。その中の一つ二つ選んでいただけますか。

濱井：それはもう山ほどあります。十年間我が社のアメリカ

**大久保：**今、ここで海外で感じた日本人の誇りとか課題つていうのも繋がる気がするんですよ。どうですか。

ことばかり伝わってる気がしますね。

法人に勤務していたんですが、その時に、それ行けどんどんで当時はやつっていました。お客様にどんどん納品をして、そして

があります。それは昭和五十年  
にアメリカに行つて二年目だつ  
たのですが、昭和天皇皇后両陛下  
が訪米されて、ホワイトハウ

想をいただいたこともあります  
たね。

**大久保**：やつぱり伝えるってこ  
とは、とても大事なことですね。  
ちなみに今やつてお仕事の内  
容を教えていただけますか。

**濱井**：宇宙航空関連の仕事を  
しております。国際宇宙ステー  
ションですとか、小惑星探査機  
はやぶさのプロジェクトなんか  
にも携わっております。

**大久保**：最先端ですね。人類の  
未来を左右しますよね。さらに、  
お二人にお聴きします。特に若  
い頃の大きな失敗を紹介いただ  
けますか？

**濱井**：アメリカに行つて二年  
目の出来事なんですが、営業訪  
問をした会社で知り合つたバイ  
ヤーさん、アメリカ人のバイヤー  
さんが日本大好きバイヤーさん  
だったんですね。そのために私  
が日本人であるというただその  
理由だけで特別待遇をしてくだ  
さったことがあります。しかし、  
私は悪乗りをして、その特  
別待遇をしてくださつたにもか  
かわらずその方に恩返しができ

なかつた。これはいまだに悔や  
まれて、もう一度お会いできたら  
お詫びしたいなどそんな風に  
思つていますね。

**大久保**：堀内副学長の留学の頃  
や若い頃の失敗とかは？

**堀内**：若い頃は、失敗ばかり  
でしたけど、私は、ワシントン  
D.C.に十二年間勤めており  
ました。研究所のワシントン事  
務所があつたのですけど、その  
時現在の理事長がアメリカにお  
見えになつていて、理事長の大  
きなお客様がお見えになつ  
た時にアテンダさせていただき  
たんですね。そして、空港まで  
行つて、車に乗られるつていう  
ので、「前の方がいい」とおっしゃつ  
たもんですから、「どうぞ前の方  
に」とご案内させていただきま  
した。その後、理事長があつたので、  
たときに、理事長が運転されるつ  
ていうので、私、後ろに乗つて  
しまつたんですね。「君、ま  
だ早いよ」って言われましてね。  
いやアメリカではあの風光明媚なところが見えるが上席だと

思つていたんです。日本では、  
逆だつたのですね。

**大久保**：これだけ立派な方もた  
くさんの失敗やしくじりをして  
きてるということですね。オミ  
クロンの状況もありますので、  
学校の先生たちに是非、激励を  
一言ずつお願いできますでしょ  
うか。

**濱井**：私は麗澤大学の四年間  
が私の人生を方向づけてくれた  
というふうに今でも強く信じて  
います。もし先生方の知り合い  
で、これから大学を目指そうと  
いう教え子の方がおられました  
ら、是非、麗澤大学を進めてい  
ただきたい。必ずその学生さん  
は、将来生き甲斐のある人生が  
送れるようになると思ひます。

**大久保**：麗澤大学に来なきや損

ですよ。是非、お待ちしていま  
す。お子さんとか、もう一回学  
びたいという方とか、リカレン

ト教育として「最高の学び舎」  
です。本日は誠にありがとうございました。  
大久保：麗澤大学の学生をしっかりと  
勇気づけたりしたいつていう  
ので花火大会をやるというプレ  
ゼンテーションだったのです。

**堀内**：今日、実はこの取材の  
前に学生のプレゼンテーション  
がございました。何をやるかと

言いましたと、このコロナ禍で  
花火を打ち上げる会社があつても、  
経営が非常に厳しい。

伝統的な文化ですよね、「花火  
作り」っていうのは。花火業者  
を盛り上げたり地域振興にかか  
わらずその方に恩返しができ

わる麗澤大学の学生をしっかりと  
勇気づけたりしたいつていう  
ので花火大会をやるというプレ  
ゼンテーションだったのです。

クラウドファンディングで資  
金を集め、夏に手賀沼でやる  
「花火」をここ麗澤で、やりた  
いという素晴らしい感動の話で  
した。コロナ禍で皆さん大変だ  
と思ひますけれども麗澤大学で  
はこういうような学生が育つて  
きております。

**大久保**：麗澤大学に来なきや損  
ですよ。是非、お待ちしていま  
す。お子さんとか、もう一回学  
びたいという方とか、リカレン  
ト教育として「最高の学び舎」  
です。本日は誠にありがとうございました。  
大久保：麗澤大学の学生をしっかりと  
勇気づけたりしたいつていう  
ので花火大会をやるというプレ  
ゼンテーションだったのです。

「鼎談動画～あなたの原点は？」  
[https://youtu.be/lmnRn\\_NrQHl](https://youtu.be/lmnRn_NrQHl)

